

門沢橋小学校 学校運営協議会 議事録  
(令和5年度 第1回)

- 1 日時 令和5年6月14日(水) 10:00~11:30
- 2 場所 門沢橋小学校 家庭科室
- 3 出席委員 牛村忠雄会長、大澤均委員、佐川瀧三委員、大島千佳委員、米山恵委員、鈴木美由紀委員、武井友勝委員、大河原俊一委員、青木賢一委員、後藤純子委員、土谷政巳委員

4 会議の内容

(1) 学校長挨拶

<後藤校長>

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、学校行事(遠足、水泳、稲作活動等)、学校生活(給食、掃除の雑巾がけ等)が元に戻りつつある。

コロナ禍を経て、学校は元に戻っていくというより、新しい学校になっていく。地域皆様には、地域、家庭、学校での子ども様子を共有させていただきたい。

(2) 委嘱状交付

4月から以下の新規委員の委嘱状交付。

大澤均委員、鈴木美由紀委員、青木賢一委員、土谷政巳委員  
(欠席された壁島武委員については、別途交付する)

(3) 会長の選出、および挨拶

会長に、牛村忠雄委員を選出。

<牛村会長>

皆様のご協力あってこそその活動であり、特に教育に関する活動については、皆様のお力添えをいただきたい。

(4) 自己紹介

(5) 議事および報告令和5年度の学校経営方針について

①学校運営の基本方針について<校長から>

学校教育目標はずっと大切にしている門沢橋小学校の教育目標

○児童数は476人。若干少なくなった。

○子どもたちは元気に過ごしている。大人たちが社会のルール等を伝えて

いかなければならない。

○教職員が元気で仕事をしていける環境づくりも大切。子どものためにやりたいこととの勤務時間の悩みはある。

○門沢橋小学校は欠員がない。5人の教職員の入れ替え。英語専科中学校教員の配置。若い教職員も増えた。

○学習指導

- ・基礎・基本の定着については、長年の門沢橋小学校の課題。
- ・家庭学習の時間に課題。家庭学習時間0分の児童が全体の1割。習慣づけに取り組んでいる。
- ・国語について校内研究をしている。授業研究については、暁星小学校の野中先生からご指導いただいている。
- ・ICT教育の推進。今後、週に一回くらい持ち帰る予定。

○児童支援

- ・挨拶運動、7月の門小まつりでの異学年交流を行う。
- ・いじめ防止について取り組んでおり、「ともだちアンケート」の情報をもとに、担任が子どもと面談を行っている。
- ・新一年生に対する「スタートカリキュラム」。幼稚園・保育園からの接続を緩やかに、学習につなげていく。

○健康・安全

- ・掃除について大きく変わっているが、清掃指導の経験の少ない若い教職員は難しさを感じている。
- ・ストローレスによる環境への配慮。
- ・外遊びの推奨。

○特色ある学校づくり

- ・稲作活動に対する協力体制（稲作協力員、PTA、米ガールなど）。

○授業参観、学級懇談会、家庭訪問等をとおして、学校の様子を見ていただいたり、保護者と対面でお話したりする機会を大切にしていきたい。

<質疑応答>

Q：男女の呼び方は？

A：(校長) 基本的に「さん」で呼んでいる。

C：性的マイノリティに対する配慮も必要だと感じる。

Q：小中一貫教育はどの程度まで進んでいるか？

A：有馬中学校区では、早い段階から取り組んでいる。

児童の情報交換だけではなく、授業等についても情報交換をするために、ICT等のいくつかの部会をつくって話をしている。

中学校の合唱祭のリハーサルを、小学生が見学したり挨拶運動へ中学

生が参加したりして交流の機会がある。また、小中の校内研究の参観も計画されている。

Q：登校班の合流地点が混み合う。交通量の少ないところを通過して合流するように提案をしたことがある。学校のほうから、通学路について指定、推奨等はされているか？

A：以前、中野方面のクリエイト付近については、当時PTA役員のご尽力、地域の方々のご理解により、変更を実施した経緯がある。主幹通学路の先の地域通学路については、関係地域者の合意を得ることが大切。

C：中野、門沢橋は大型トラックが増えてきた。戸沢橋への抜け道を通る大型車も増えた。様々な団体から継続的なアプローチを行って道路の安全を確保していく必要があるだろう。

Q：コロナ禍が明けてマスク着用に対する指導にあいまいさがあるのでは？

A：これまで「マスクをしましょう」と指導してきて、急に「マスクをはずしなさい」とは言い難い。しかし、運動等の活動に応じて熱中症予防のために「外しましょう」とは指導している。中学生、6年生はほぼ外していない。特に女子児童。

C：「顔パンツ」という言葉もあり、外すことができなくなっている。

C：マスクをしないと人前に出られない人もいる。

## ②学校運営協議会計画書について<校長から>

子ども実態として「よく挨拶をする」ことについて、ご意見を頂きたい。今年度は昨年度に比べて、挨拶ができなくなっているのではないかと感じている。挨拶運動も自分が担当のときは大きな声でやっているが、普段の双方向の挨拶が必要だと思う。

通学路の安全確保については、地域・学校との連携が欠かせない。昨年度は踏切交差点での事故発生、今年度は産業道路の郵便局近くで事故発生。

C：以前、海老名市では「早寝・早起き・挨拶運動」をやっていた。地域でも挨拶運動はできる。

C：昨今の社会の状況から、声を掛けることが、難しい現状がある。学校は「知らない人からの声掛けに注意」と指導している。学生も挨拶できていない。小さいころからの習慣が足りない。子ども達は先生方同士の挨拶の様子も見ている。

C：自治会の挨拶運動の取り組みの中では、挨拶は家庭のしつけという

話も出ていた。

C：「自分からあいさつをする」という意識が大切。

C：防犯教室等の動画による教育の影響（知らない人からの声掛けには距離をとりましょう）もある。民生委員のビブスを着ていると、相手に安心感を与える。

C：コロナ中「登下校中は話をしないように」の指導が、挨拶にも影響を与えているのだろう。

C：ビブスを着ていると「おはよう。行ってらっしゃい」と、声を掛けやすい。

C：挨拶は防犯上も効果がある。

会長：「よく挨拶をする」は、児童の実態に記入することで良いか？

→全員の同意

## (6) その他

<校長から>

- ・運動会は人数制限なし。運営協議会の皆さんにはご案内を送る。
- ・餅つきについて、学校で食べるかは検討している。
- ・「海老名市コミュニティ・スクール連絡会」が予定されている。ご参加についてご協力をお願いしたい。
- ・第2回門沢橋小学校学校運営協議会  
令和5年10月30日（月） 13:30～
- ・第3回門沢橋小学校学校運営協議会は2月ごろを予定。

以上